

# 内郷赤報

行發日一回一月毎  
 郵政省認可  
 郵便物便郵種三第

## 我々は寧ろ

### 話せぬ先生を歓迎す

大内民惠

記者が昨年五月、本縣中  
 通りの郷里に歸つた時の事  
 であるが、或町で教職にあ  
 る二三の人々が、校長が某  
 市の校長に榮轉した事、其  
 校長が各方面に、あまり質  
 のよくない、しかも少くな  
 い負債を其儘にして行つた  
 事などを、噂しあつて居る  
 のを聞いたので、それは甚  
 だ怪しからぬ事ではないか  
 そういふ破廉耻漢は須らく  
 教育界から放逐しなくては  
 いけないではないか、とか  
 らかへば、それは先生、今  
 時先生の様な議論は時代お  
 くれですよ、謹嚴、真面目  
 品行方正だなどといふ連中  
 は、我々仲間では、話せな  
 い先生といはれて、何年た  
 ったつて、出世のしつこは  
 ないのです。何でも酒も飲  
 めば女も買ふ、上の方へは  
 然るべく、有力家へはよろ

しく、立ちまはりおよぎま  
 はつて、兒童の將來などは  
 更に念頭におかず、たゞ大  
 むかふの喝采  
 を博する様な  
 事を、バツト  
 やつて見せる  
 と忽ち模範校  
 となり、優秀  
 な校長となつ  
 て、ごん／＼  
 出世もするのです。そうい  
 う先生を、所謂話せる先生  
 と稱し、我々も勢ひそうし  
 た先生を標準として、修養  
 せざるを得なくなつて來  
 るのであります。この事で  
 ありました。而して前記の  
 校長は最近奏任待遇となつ  
 たのであります。

昭和六年度内郷村歳出豫算 (單位圓)

一、神社費會議費	五四・一八	基本財産造成費	三、二〇七
二、役場費	一〇、八五一	九、武徳殿維持費	一一〇
三、土木費	一、三三三	一〇、財産費	三六五
四、教育費	七四、四九六	二、地方改良費	三五〇
五、衛生費	三、〇三八	三、諸稅雜支出其他	一、一九五
六、勸業費統計費	一六七	三、豫備費	六〇〇
七、救助費警備費	六七八	計	九六、九四〇

記者は當村に在住する事  
 こゝに滿八年、近頃漸く村  
 の状況もわかつて來たと共

かはり、それ／＼受持も極  
 つて、こゝに我村に於ては  
 八十幾學級が一齊に新學期  
 に入り、先生も兒童も、心  
 身維新、新活動が開始せら  
 れ、之を廻る幾千の父兄は  
 我子弟の上に成績よかれか  
 しと祈らぬはなかるべく、  
 同時に先生方に對しても、  
 幾多の希望や期待がある事  
 と思はれます。

今日あるは偏にあの先生の  
 出で、十年二十年乃至一生  
 を通じて、小學時代にかう  
 した教育を受けた、自分の  
 お蔭であるとお蔭である  
 幼時を追懐し  
 感謝するとい  
 ふ様であつて  
 こゝろ、小學教  
 育の成功であ  
 ると思ふので  
 あります。

に、先生方に對する希望も  
 相當に持つて居るのであり  
 ます。此機會に於て僅かに  
 其一端を申上げて見様と思  
 ひます。

然し何をすることも其中心  
 は先生方でありませぬ。見渡  
 す處、甚だ失禮な申分では  
 あるが、我村に於ても、御  
 多分の方が、多いのではな  
 いかとあやまられるのでは  
 ありません。

我族は一家一室の生活  
 で、父兄は晝夜交替の勞働  
 に従事して居るので、其兒  
 童の多くは、世の所謂家庭  
 教育といふ方面には恵まれ  
 る事が頗るうすく且つ單純  
 な生活をして居るものであ  
 つて、其うる感化と影響  
 の中心をなすものは何とい  
 つても活動寫眞と學校の外  
 にはないといふ状態であり  
 ます。こゝに各校が相呼應

して活動寫眞の對策を講ず  
 る事、特に炭礦村の兒童  
 對する教育方針を確立す  
 る事、最大急務であつ  
 して、之を以て一般父兄を指導  
 するに以て兒童の一生を支配す  
 る堅實なる素地をつくる事  
 に努力して来たのだとい  
 う希望が起つて來たので  
 あります。もと／＼生活が  
 單純であるから、其方法が  
 へよるしきを得れば、効果  
 ではないかと思はれるので  
 あります。

### 金坂方面 高坂方面

## 内郷共済會概況

### 三百五十三名入會

村側である金坂區の會員募集は三月五日に行はれた當日は委員大友寅吉、志賀清、佐藤繁の三氏は一家を擧げて出勤し、大野ハル子女史之に加はり、熱烈なる運動の結果、百二十五名の會員、白米二石九斗一升の會費を得て、全村のレコードを破り、高坂方面に於ては、同十五日四家副會長代理、菌部末造、田口淳三の二理事、根本保吉、遠藤米吉、松村智清、荒正直、長谷川鐵太郎、吉田庄太郎、江尻萬興、遠藤萬四郎、根本仙治の九委員、それに青年分團長中村功、同幹部根本弘、青木力、菌部保、高瀬貞夫、鈴木孝、佐藤豊吉、崎茂義の八氏之に應援し立所に百二十八名の會員、白米一石六斗六升、現金拾五圓二十五錢の會費を得、菌部理事宅に集合、野木大内兩會長も之に加はり、出勤者一同と記念撮影をした。



果結の面方坂金會濟共

三校及尋高校は同二十五日に、修卒業授與式を舉行した。其概況を左に尋高校 (高坂)

尋常科  
在籍、一〇九四。修業生、九四〇  
卒業生、一四九。再修生、五。優等賞、二二二。進歩賞、七。精勤賞、三六三。六ヶ年精勤賞、二。部會賞、二。  
高等科  
在籍、六八〇。修業生、三五六。卒業生、三二四。優等賞、一五三。同十ヶ年、一。

一五。部會賞、三。  
第三校 (宮)

在籍、一五八五。修業生、一三八六。卒業生、一九九。優等賞、二四八。精勤賞、五八二。六年間精勤賞、二。部會賞、三。  
公民學校 (内町)

在籍、六五。修業生、五三。卒業生、一二。優等賞、一七。精勤賞、二二。  
裁縫校 (綴)

### 臨時村會

三月二十三日臨時村會を開き、大字内町字金坂の道路變更及河川改修に關する番地變更の件を議決し、村長推薦の區長及區長代理者を承認した。氏名は別項職員録の通りである。

### 保險申込殺到

別項掲載の通り、礦業所で東洋生命の代理店を引きうくるや、基礎堅實成績優良な會社である上に、小林參事の熱心な勧誘と、掛金の立替支拂といふ便法がある爲に、申込殺到未だ一月にならぬに、加入者八十餘名契約高拾壹萬圓を突破した。

### 健康標語募集

健康標語募集では、

三月二十八日切を以て、健康増進、傷病征服の標語募集を企て、一等一人金拾圓より、以下數等合計百人に、賞金賞品を出す事にしたが、應募語句四千に達し目下委員を擧げてそれら調査中だが、成績發表は四月十日頃の由。

### 勞力奉仕

磐城修養園支部にては、三月十五日午前六時より同

### 從業員諸君に申す

生命保險の必要な事は改めて申すまでもありません。此度當所に於ては、從業員諸君の爲に、特に最も堅實を以て誇る東洋生命保險會社の代理店を引受けて、掛金の立替へ支拂ひ其他種々の便宜を計る事にいたしました。御契約希望の向は勞務課又は勞務各派出所に御申出下さい。

### 磐城炭礦株式會社 礦業所

十時まで、濱崎幹事長以下團員四十名出勤して、綴山神社境内地均し工事に、流汗の勞力を奉仕した。

### 本紙贊助金寄贈芳名

- 金五圓 湯本 木村徳三郎
- 金貳圓 綴 大竹龍惠
- 金壹圓 綴 淺野總一郎
- 金壹圓 綴 前川益以
- 金壹圓 綴 同 内田 護
- 金參拾錢 綴 同 田澤 久
- 金貳拾錢 綴 同 渡邊 五郎

### 冥福を祈つて

過般郷里で遠逝された慈父と愛妻の

### 學事概報

内郷第一校第二校及裁縫校は三月二、四日に、同第

父の冥福を祈る爲にとて、磐城區係S氏より金五圓を共済會に寄贈せられ、又健康保險組合視察員で共済委員である八巻良雄氏は、先般夫人の物故に際し、諸經費を節約して金貳拾圓を同共済會に寄贈せられた。兩氏の此奇特なる行為に對しては關係者一同感謝の意を表して居ると共に、本村社會事業の爲に、好ましく範例を示すものとして推賞措く能はざる次第である。尙八巻氏は縣人會其他の団体へも金若干づつを寄贈せられた由。

進歩賞、一一。一ヶ年精勤賞、二  
三一。六ヶ年精勤賞、九。部會賞、五。  
第一校 (御厩)

在籍、三九八。修業生、三九八。卒業生、五八。優等賞、九。進歩賞、二。三。精勤賞、一三三。六ヶ年精勤賞、三。部會賞、一。  
第二校 (内町)

在籍、一三〇二。修業生、一一二八。卒業生、一七〇。再修生、四。優等賞、二九九。進歩賞、三〇。精勤賞、四七五。六ヶ年間精勤賞

# 全員奉仕して 綴坑山神社に 二千坪の運動場

綴坑では事務所裏山の景勝地に山神社移轉を企て、昨年三月以降毎公休、全従業員交代に労働を奉仕し、幾多の難問題を突破し、不屈不撓、山を崩し、澤を埋め、二千余坪の一大運動場を造り上げて、来る祭禮には遷宮を行ひ、運動場開きをまゐる事に決定した。奉仕した延人員實に二千数百人に達する由。近來稀に見る一大美譽といふべしだ。

## 中等學校入學

此度本村より磐城中等學校へ三十二名、平商業へ十二名、磐城高女へ二十三名の入學生があつた。其出身校及氏名は左の通りである。而して裁縫校へは高坂校より四十一名、湯本校より八名の入學生があつた由。

磐城中等學校  
浦山健二、齊藤乙弘(以上第一校受驗者三名中)市川英雄、佐藤久雄、岡常雄、重田幸藏、岩崎勲、庄司孟夫、中大、小林二郎(以上第二校受驗者全部)草野泰昌、鈴木佐太郎、伊藤一良、小林克治、貝原孝正、井出久雄、新妻政美、森下藤雄、草野敏雄、栗谷政男、野上龜雄、山崎武(以上第三校受

驗者全部)四家又郎、三本松武、遠藤清八、大内二郎、(以上高坂校尋常科受驗者全部)大越三男、野木一夫、菅本久一、林義雄、桶井勝美、瀧川政一(以上高坂校高等科受驗者十名中)

平商業學校  
中村鼎、永山喜一、永久保繁光、本間光、關謙藏、渡邊功、矢野泰、小松喜一(以上第二校受驗者全部)鈴木克治(以上第三校受驗者全部)長谷川清、高木隆(以上高坂校尋常科受驗者全部)草野菊次(以上高坂校高等科受驗者全部)中)弓野マユ、鈴木ハツイ、吉村清子、宮下トキ、高岡サキ、櫻石ハナ、菊地姫子、江尻惠美子、小野みつゑ(以上第二校受驗者十三名中)高柳美津子、木村京子、大高綾子、寺島ミツ、齋藤幸子(以上第三校受驗者八名中)田口喜久中垣ミホ、長谷川サダ(以上高坂校尋常科受驗者全部)瓜田久子、本田美代、齊藤ハル、小楡山文子、高萩稔子(以上高坂校受驗者九名中)



果結の面方坂高共濟共

## 役付聯合會

磐炭役付聯合會三月例会は、十五日午前十時より従業員集會所に開會し、濱崎勞務課長以下勞務課職員をはじめ百七名參集、濱崎課

件、青年會員温友會員夜警終了に關する件等の報告ありて後、山神社祭執行に關する件、夜警終了後の火災豫防に關する件、故社長紀念事業選定に關する諸件につきて協議をなし、一同書餐を會食して散會した。

## 健保議員選舉

磐城炭礦健康保險組合會にては、三月八日全山に涉りて、被保險者の互選を行ひ、定員二十二名を選出し同時に事業主側よりも同数の議員を選定した。其氏名は別項職員録欄に掲載の通りである。

## 峯根青年會

磐炭青年會峯根支部第六回總會は三月二十九日午後一時より従業員集會所に開會、出席者五十余名、宗像副支部長開會の辭、圓谷支部長詔書捧讀、同經過報告、部下會計の決算報告、會員の表彰、青年會長代理田中義枝幹事の挨拶、來賓山崎長次氏の祝辭、支部長の答辭、役員選舉、會員の感話會歌及礦山歌合唱、副支部長の閉會の辭の順序にて、盛會裡に五時散會した。新役員の氏名職員欄に掲載。

## 礦産稅移讓通過

礦産稅關係町村移讓案は愈々兩院を通過したので、追つて勅令を待つて實施せらるべく、本村に在つては略貳萬餘圓の交附をうくる事になる由

## 高坂青年會

磐炭青年會高坂支部第七回總會は、三月二十九日午後一時より、御殿従業員俱樂部に開會、青年會歌、開會の辭、令旨捧讀、經過報告、會計報告、表彰、來賓祝辭、役員選舉、感話、茶話會等の順序にて盛會裡に午後五時散會、尙來賓猪狩喜平治氏より有益なる精神講話があつた。而して同支部にては、創立七週年紀念として、關係者諸氏へ木盃を贈呈したる由。尙改選した新役員の氏名は、職員欄に掲載の通りである。

## 伊藤南州

氏講演會は三月十五日午後一時より昭和館に開催。淺野總一郎傳及赤穂義士の二席であつたが、例によつて満場立錫の空席なき盛會であつた。

三つ食へば  
菓三片の櫻餅

内郷村公私団体職員録 (七)

- 區長 大越惣兵衛 大越勝之助
○區長代理 高萩又造
○警炭健康保険組合理事 齋藤初吉 長谷川勘兵衛
○警炭健康保険組合職員 齋藤初吉 齋藤初吉...

- 支部長 齋藤初吉
副支部長 齋藤初吉
班長 齋藤初吉
渡邊昌雄 小島春龍...

夕月に瀧豌豆のあかるけれ
石田修二氏は夢野吟社同人警炭販賣所勤務の石田秀二氏のごま...

- 丹治芳兵衛 齋藤初吉
長谷川勘兵衛 高萩四郎
田中松次郎
桑折 野木由太郎...

- 支部長 齋藤初吉
副支部長 齋藤初吉
班長 齋藤初吉
渡邊昌雄 小島春龍...

本村教員の異動
縣下を通じて教員の大異動が行はれたが、本村にて...

- 班長 齋藤初吉
蒲生正利 佐藤百郎
菊地唯春 三津岡太四郎...

麥笛吟社
水の面にしほしの影や鳥交る
入學の結果さはれし電話かな
志賀野壽司...

別項記載の如く鑛坑全従業員
神社運動場土工奉仕は特筆大書するに値する△之に感激した鑛炭修養園では袖手傍觀するに忍びず...

本郡鹿島小学校長 根本喜代一
伊達郡半田小学校長 河原田十吉
本郡江名小学校長 青戸小次郎...

伊達郡伊達小学校長 仲村千代
同 同 同
同 同 同
同 同 同